

# 別府市備蓄計画（公的備蓄）の概要

## 基本的な考え方

- ▶災害時の備蓄は、「自助」の理念に基づき、市民自らが災害に備え備蓄を行う。
- ▶県及び本市は、自発的な備蓄に取り組むよう啓発に努める。
- ▶市民の備蓄を補完するため、発災初期における生命維持や生活に最低限必要な物資を備蓄する。

## 備蓄目標

- 【考え方】
- ・東日本大震災における避難者数を大分県の人口で換算した18万人を最大避難者数として、備蓄目標を算定（沿岸部17.5%・内陸部3.8%）
- 【備蓄目標となる最大避難者数】
- ・本市の最大避難者数21,374人
- 【備蓄品目】
- ・主要4品目（主食、副食、飲料水、毛布）
  - ・要配慮者に必要な物資
  - ・感染症対策に必要な物資
  - ・その他（資機材等）

## 自助・共助・公助の分担図

### ①主食・副食・飲料水+マスクなど



### ・毛布+その他



## 備蓄場所

### 【考え方】

- ・災害の発生場所の予測、道路等の寸断を考慮し、分散配置を基本とし、備蓄目標が確保できる施設等を確保し、整備する。

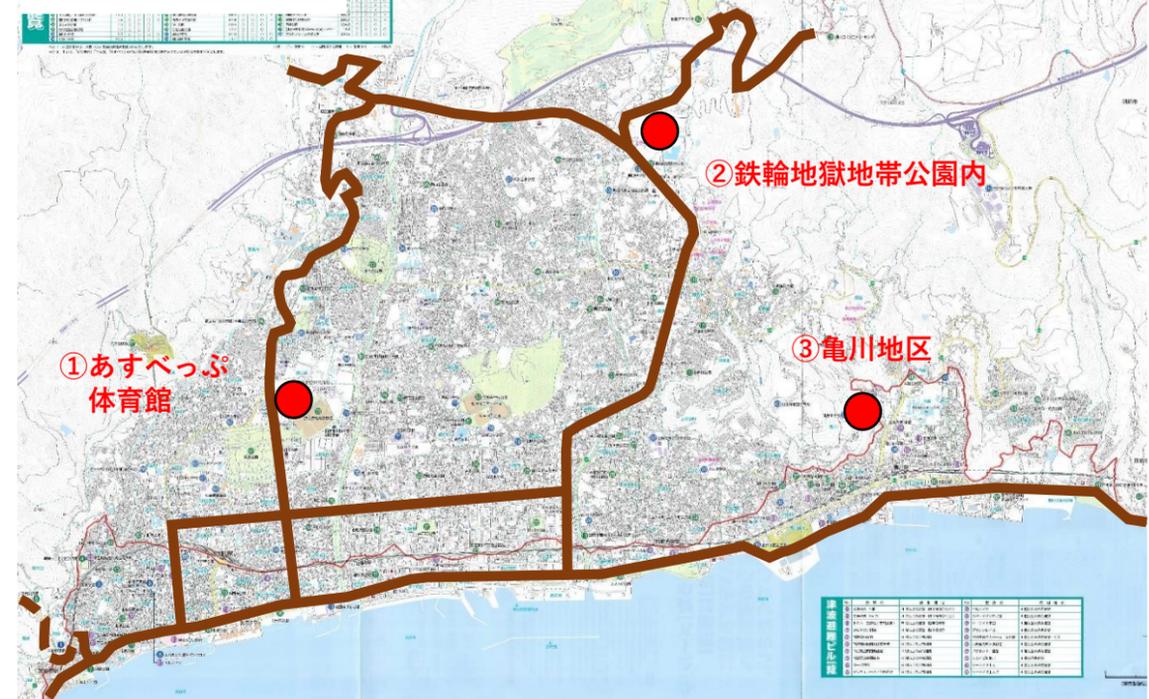
### 【備蓄倉庫の場所】市内3か所

- ①あすべっぷ体育館（改修）※現在、仮設で運用中
- ②鉄輪地獄地帯公園内（新設）
- ③亀川地区（内竈多目的広場を計画）

### 【その他、備蓄場所】

- ・収容避難所（市立小中学校+地区公民館等：34か所）
- ・福祉施設等（一部、福祉避難所として使用）

## 備蓄倉庫配置計画



## 主な備蓄品と目標量

品目	単位	数量
主食	食	32,062
副食（味噌汁）	食	32,062
飲料水（500ml）	本	64,122
毛布	枚	5,344
紙おむつ（小大）	枚	5,419
簡易トイレ	基	450
ベット	基	9,085
マスク	枚	10,687
消毒液（500ml）	本	410
その他、資機材等	式	1

## その他

- ・年次購入計画による備蓄品の確保
- ・賞味期限物資（食料品）の有効活用（訓練、フードバンク等への配布）
- ・ITを活用した管理システムの構築、活用